



ワオ・コーポレーションが贈る、 家族で楽しめるネット映画館

教育とエンターテインメントの融合を目指す
ワオ・コーポレーションの
ビデオオンデマンド配信サイト。
世代を超えて心に響く、
ワオ製作の感動映画をお届けします。

NITABOH 仁太坊—津軽三味線始祖外聞



江戸から明治への大
転換期。過酷な運命
の中でひたすら自分
を信じ、津軽三味線
を生み出した人物、
仁太坊の生き様を描
いた物語。

第10回 ソウル国際アニメーションフェスティバルSICAF2006(韓国:ソウル)
「長編映画部門グランプリ受賞」

ふるさと—JAPAN



舞台は昭和31年の東
京・下町。特攻隊で死
んだ兄の遺志を継
ぎ、童謡を歌い継い
でいこうとした若い
女性教師と子どもた
ちの物語。

第12回 リヨン・アジア映画祭(フランス:リヨン)
「アニメーション部門1位」「子ども映画部門1位」

8月のシンフォニー —渋谷 2002~2003



原作は、シンガーソ
ングライター川嶋あい
の『最後の言葉』。
母との約束を果たす
ために路上で歌うア
イと、それを支える
仲間たちの物語。

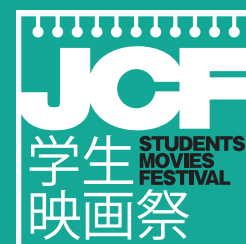
第15回 リヨン・アジア映画祭(フランス:リヨン)
「アニメーション部門2位」「子ども映画部門3位」

ギュメ寺は祈っている



チベット仏教最高の
学問寺であるギュメ
寺。地鳴りのような読
経の声。目を見張る
曼荼羅(まんだら)。
500人近い僧侶たち
の“祈り”と“修行の
日々”と、彼らを支える1人の日本人の姿を追っ
た長編ドキュメンタリー作品。

『夢はここからはじまる』
次代を担う才能の発掘と
育成を目的とした最大の学生映画祭
SINCE 1999



ワオ・コーポレーション presents

第14回 JCF学生映画祭



2016年11月25日26日開催!

主催 | JCF 学生映画祭実行委員会 特別協賛 |



スカラシップ
パートナー |



後援 |



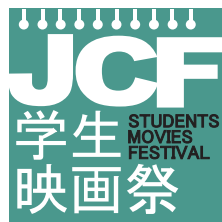
ファミリー映画館 🔍 検索

<http://film.wao.ne.jp>

www.jcf.jpn.com



イベントスケジュール / 会場



京都会場

大阪会場

11月25日(金)

11月26日(土)

14:00- 開会式 開会の挨拶

14:05-16:05 学生映画部門学生映画アワード

入賞作品上映
人間適定 / パラレル・マインド / 限界突破応援団

16:05-16:20 休憩 (15 分)

16:20-18:50 学生映画部門学生映画アワード

入賞作品上映
灰色の青春 / WILL

18:50- 開会式 開会の挨拶

13:00- 開会式

13:00-13:05 開会の挨拶

13:05-15:00 オープニング特別上映「南風」

15:00-16:00 WAO 10 MINUTES MOVIE AWARD

入賞作品上映

16:00-16:15 休憩 (15 分)

16:15-17:15 シネマフォーラム

[過去受賞監督と見守る映画人]

17:35-17:55 アジア特別招待上映

17:55-18:00 特別招待上映 「ストップモーションアニメ」
「二十世紀梨くん PR 動画」

18:00-18:20 表彰式

19:00- レセプションパーティ：入賞者との交流会

[別会場：アークホテル心斎橋]

『京都西陣 IT 路地』

『心斎橋 SUNHALL』



〒602-8061
京都府京都市上京区
甲斐守町 9 7



〒542-0086
大阪市中央区西心斎橋 2-9-28
サンボウルビル B2



ワオ・コーポレーション presents

第14回 JCF学生映画祭

『夢はここからはじまる』

<次代を担う才能の発掘と育成>をキーワードに日本だけではなく、アジアの将来を担う若手クリエイターの発掘・育成を目指すポリシーをそのままに、第14回を迎えるJCF学生映画祭を開催し、映像のチカラで日本を元気に活性化させることを目指します。



開催概要

名称	ワオ・コーポレーションpresents 第14回JCF学生映画祭
開催目的	日本だけではなく、アジアの将来を担う若手クリエイターの発掘・育成を目指すポリシーをそのままに、第14回を迎えるJCF学生映画祭を開催し、映像のチカラで日本を元気に活性化させることを目指します。
開催日	2016年11月25日(金)、26日(土)
場所	25日 京都西陣IT路地(京都府京都市) 26日 心斎橋SUNHALL(大阪府大阪市)
主催	JCF学生映画祭実行委員会
実行委員	特別顧問/西澤昭男(株式会社ワオ・コーポレーション代表取締役) 顧問/溝畑宏(大阪観光局理事長) 実行委員長/高 秀蘭(映画プロデューサー) 実行委員/大和田 廣樹(映画プロデューサー) 実行委員/磯久 五郎(5Lエンタテインメント株式会社代表取締役) 実行委員/太田 雅人(GETTIグループ代表・JCF学生映画祭ファウンダー)
制作運営	JCF学生映画祭運営事務局
企画制作	5Lエンタテインメント株式会社
特別協賛	WAO! (株)ワオ・コーポレーション
スポンサーパートナー	エルムス ユナイテッド 動物病院グループ ELMS United Animal Hospital Group
後援	公益財団法人大阪観光局 ABC (株)ABCライツビジネス Campus Novi CAMPUSNAVI.COM
協力	NEW WAVE / ドリームキッド / GX Overseas limited.
行事内容	◎コンペティションプログラム 長編 学生映画アワード 部門 (入賞5作品を京都会場で11月25日に上映) 〈WAO 10 MINUTES MOVIE AWARD〉 短編 学生映画アワード部門 (入賞作品11作品を大阪会場で11月26日に上映) ◎表彰式プログラム ◎特別プログラム アジア学生映画上映 ◎シネマフォーラムプログラム ◎レセプションパーティ (26日表彰式終了後) 無料(入退場自由)



ワオ・コーポレーション presents

第14回
JCF学生映画祭

実行委員会プロフィール

////////////////////////////////////

JCF 学生映画祭実行委員長 /
映画プロデューサー

高 秀蘭

台湾テレビのプロデューサーとしてキャリアを積み、1986年ニューウエーブを設立。以降、中国語圏の優れた監督の製作・配給に関わってきた。カンヌ映画祭グランプリを受賞した台湾の侯孝賢（ホウ・シャオ・シェン）監督の「非常都市」（1988年）、「戲夢人生」（1991年）のプロデュースを始め、中国の張芸謀（チャン・イーモウ）監督の「紅夢」（1991年）、「活着」「上海ルージュ」（1995年）、「何平」（ハー・ピン）監督の「哀愁花火」のポストプロダクションを務めた。陣凱歌（チェン・カイコー）監督とは「さらば、わが愛／霸王別姫」（1993年／カンヌ映画祭パルムドール受賞）、「花の影」（1996年）「始皇帝暗殺」（1998年）、「鳳凰わが愛」（2008年）、新宿インシデント（2009年）のプロデュースを手掛ける。

JCF 学生映画祭実行委員 /
映画プロデューサー

大和田 廣樹

大学卒業後、メディア関連のコンサルタント業務を経て、96年に株式会社インターネット総合研究所（IRI）の設立に参画。同社は、99年に東京証券取引所マザーズ市場の第1号として上場する。02年、IRIのデータセンター小会社の株式会社ブロードバンドタワー（BBT）の社長に就任。03年ブロードバンドユーザー向けのドラマを製作するネットシネマ事業を開始し、「D-5 Project」として林海象監督と「探偵事務所5」シリーズを共同プロデュースする。また、映画プロデューサーとしても『もんしゅん』（06）、「松ヶ根乱射事件」（06）、「ドルフィンブルー・フジ、もういちど宙へ」（07）、「寄子」（08）、「ぐるりのこと。」（08）、「ニセ札」（09）、「THE CODE / 暗号」（09）「南風」（14）、「ディストラクション・ベイビーズ」（16）などを手掛けている。現在は、活動の中心を台湾、中国に移し、日台合作テレビドラマ『木蘭花』のプロデュース。2011年6月には台湾に中国映画市場へ本格進出するために大唐国際娛樂股份有限公司を設立。中日韓台の合作映画やテレビドラマの企画に取り組んでいる。

JCF 学生映画祭実行委員 /
5L エンタテインメント株式会社
代表取締役

磯久 五郎

1983年東京生まれ、京都育ち。2009年3月京都大学工学部卒業。現在、一級建築士／（株）56設計 代表取締役／一般社団法人クールジャパン協議会 常務理事。大学時代、学生フリーペーパー【ChotBetter】に一年目・秋より携わる傍ら、着物を用いたファッションコンテスト【雅コンテスト @ 新風館】を主催。また、日本の様々な芸能・文化を伝えるイベント【京都文化博覧会】では、漫画家・書家・尺八奏者のコラボレーション企画で脚本・演出を務めた。現在、建築意匠設計に動しむ傍ら、腕のある酒蔵を応援し日本酒の飲み手を増やす【酒蔵環境研究会】にて京都事務局を務める。また、大阪・船場ビルディング314号室にある文化サロン【サロン ドゥ 蝶】の運営にも、中心メンバーとして精力的に携わっている。

JCF 学生映画祭審査員 /
株式会社 ABC ライツビジネス

本田 好明

1973年生まれ。大学卒業後 TSUTAYA を運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ㈱へ入社。その後、SONY グループの So-net にて ISP 事業、CS 放送、韓国とのビジネスに従事。現在は朝日放送が7月に立ち上げた新会社㈱ABC ライツビジネスにて企画開発・ライセンス営業を担当。

JCF 学生映画祭実行委員 /
GETTI グループ代表

太田 雅人

GETTI グループ代表。株式会社 GETTI 代表取締役、一般社団法人クールジャパン協議会 代表理事・会長。1965年8月4日生まれ、1984年大阪府立大手前高等学校卒、1989年関西学院大学経済学部卒、1991年 NEC 退職後、1992年 GETTI グループを法人化。1986年の学生時代、ラグビー同好会に所属しながら「JCF 日本サークル連盟」を設立し、企業側からの学生活動への協賛・支援の窓口を担うヤングマーケット向けの広告・プロモーション事業を創業。現在は、1業種1社の企業と、学校法人・地方自治体をクライアントに、プティク型で展開する Branding & Consulting 事業を行うかわら、<Borderless Communication>をグループポリシーとし、海外3法人を含む17法人でグループを構成し<世代間>、<地域間>、<国家間>の障壁を超えるコミュニケーションネットワークの構築を目指している。



ワオ・コーポレーション presents

第14回
JCF学生映画祭

第14回 JCF 学生映画祭の開催にあたって

この度は、ワオ・コーポレーション様にご協賛頂き、〈学生映画の甲子園〉として、〈次代を担う才能の発掘と育成〉をキーワードに1999年から開催してまいりました〈JCF 学生映画祭〉が、14回目を迎えることが出来たこと、大変有り難く、実行委員会及び事務局一同、深く感謝申し上げます。

ワオ・コーポレーション様の関係各位、ご協力頂きました学生のみなさま、ご応募いただいた学生映画監督のみなさま、誠にありがとうございます。

1999年、ゆうぱり国際ファンタスティック映画祭の10周年特別協賛企画としてスタートした JCF 学生映画祭は、〈次代を担う若者の可能性の発掘！〉をテーマに2001年までの3年に亘り、ゆうぱり国際ファンタスティック映画祭の協賛企画として夕張の地で開催し、第4回から第7回は沖縄（那覇市共催）、東京（お台場／大江戸温泉内）、愛知（愛知万博公式イベント）、東京（東京国立博物館内）と、地方と東京の交互開催を行って参りました。第7回開催中の2006年秋に、夕張市の財政破綻とゆうぱり国際ファンタスティック映画祭の中止のNEWSを聞き、JCF 学生映画祭のOBと、学生の有志により《夕張の映画の火を消さないで！》を合言葉に、【学生よ、熱き情熱で夕張の雪を溶かせ！】というスローガンのもと全国の大学生が参加し、JCF 学生映画祭の生まれた地夕張で2007年2月に第8回 JCF 学生映画祭として〈夕張国際学生映画祭2007〉を開催し、さらに続く2008年も、NPO 法人ゆうぱり観光協会様との共催で、第9回 JCF 学生映画祭として〈夕張国際学生映画祭2008〉を開催いたしました。2011年からは、鳥取県の助成事業として、鳥取県の米子市で発展的に、第10回（2011年）、第11回（2012年）、第12回（2013年）を開催し、第13回（2014年）は東北・山形で、震災復興に少しでも貢献することを目指して開催いたしました。

今年で14回目を開催でき、私ども、映画祭事務局がこの学生映画祭の準備に忙しく汗を流すことが出来ているのもご参加頂いた学生映画監督のみなさま、ご支援いただいた自治体のみなさま、スポンサーのみなさま、その他各地でご協力頂きました関係各位のおかげであり、この場をお借りして、あらためて厚く御礼申し上げます。

本映画祭のテーマでもありますように、学生は将来を担う大切な宝です。実行委員及び事務局一同、「若者の夢を引き受ける仕組みをつくる」という観点から、若者の才能と努力を引き出し、育成するステージを創造することを目指してまいります。

第14回 JCF 学生映画祭実行委員会

JCF 学生映画祭事務局

特別顧問

////////////////////////////////////

特別顧問 /
株式会社ワオ・コーポレーション
代表取締役

西澤 昭男

1942年東京生まれ。京都大学文学部哲学科（美学美術史）卒。3年間大学院に在籍。その後、1976年に大阪で現ワオ・コーポレーションを設立。「今の日本を変えるには、教育を根本から変えていかなくてはならない」という持論のもと、北海道から沖縄まで41都道府県（2016年6月現在）に教育サービスを展開する企業に育て、現在も社長職を務める。座右の銘は「自燈明（じとうみょう）」。

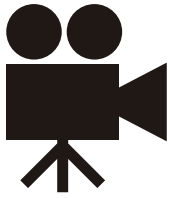
2000年にはアニメーション制作をめざしてワオワールドを設立。自ら脚本も手掛けながら映画監督としての活動もスタート。親子で楽しめ、心を豊かにするようなメッセージ性にあふれる作品づくりを志す。

顧問 /
公益財団法人大阪観光局
理事長

溝畑 宏

昭和35年、京都生まれ。父は数学者。父の仕事の関係で少年時代をフランス、イタリアで過ごす。東京大学法学部卒。昭和60年自治省に入り、平成2年、大分県庁に出向。サッカーワールドカップの会場誘致、立命館アジア大学の開学に尽力した。Jリーグ「大分トリニータ」の設立に関わりGM、社長も務め、平成20年にはJリーグナビスコカップ優勝に導く。平成22年、観光庁長官に就任。観光立国を推進し、東日本大震災の復興事業として観光振興策に尽力した。退任後は、内閣官房参与、大阪府特別顧問、京都府参与、京都大学経営管理大学院特命教授、総務省地域力創造アドバイザーなどに就任し、観光立国、2020年東京オリンピック・パラリンピックの推進、地域振興、クールジャパンの推進などに取り組んでいる。





WAO 10 MINUTES MOVIE AWARD

君と、



監督：井上 光一 創価大学 4 年
分数：8 分

大切な人を失った時、どうするか。病気の彼女との恋愛を描く。

記念日の贈り物 / 一期一会



監督：榎本 博和 同志社大学 4 年
分数：7 分 35 秒

記念日の贈り物：愛し合う 2 人、夫は妻に首飾りをプレゼントすることに決めた。一期一会：大都会でひよんなきっかけから生まれる出会い。

心に穴が空いちゃって



監督：小池 茅 早稲田大学 5 年

ある日、気になったので覗いてみたら、やっぱり穴が空いていた。心に穴が空いていた。穴男とヤングトリオの交流を描いた暗黒舞踏系ダンスムービー。

キミの隣のボクへ



監督：小林 令奈 慶應義塾大学 2 年
分数：17 分 49 秒

ゴミ山に苦しめられるバヤタスの子供たち。貧困によって教育を十分に受けることができない子供たち。撮影したフィッダー越しに映る世界を見せるドキュメンタリー。

マインドギア



監督：長尾 淳史 立命館大学 4 年
分数：16 分

大学生・宗太郎と夢を司る「漢」が記憶という非現実の世界を巡る世界。

それでも



監督：柳沢 穂絵 早稲田大学 4 年
分数：15 分

どこにでもいる普通の女の子。彼女の秘密がだんだん明らかになってゆく。彼女は、それでも…。ところで「普通」ってなに？

アニバーサリー



監督：大室 昌也 北星学園大学 4 年
分数：9 分 41 秒

札幌で一人暮らしをしている大学生、秋穂。彼女は一年に一度だけ、故郷の小樽に帰ってくる。久しぶりの父に再会し、何気ない会話を楽しむ秋穂。別れ際、父と来年も会えるかどうかはわからなかった。

町の匂い



監督：栗原 翔 京都造形芸術大学 3 年
分数：10 分

自転車の鍵穴が壊れてしまった男子高生。修理に自転車屋へ向かうため、自転車を押しての下校途中、普段は出会はずのなかった人と関わっていく。

カエルのうた



監督：中川 寛崇 城西国際大学大学院 2 年
分数：15 分

カエルを探す物語。

いい湯だな



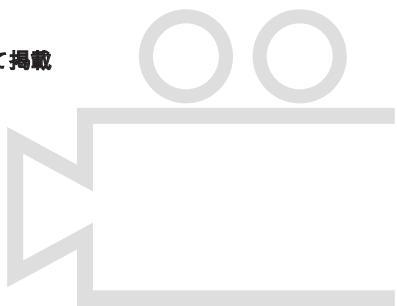
監督：平井 諒 日本大学 4 年
分数：9 分 4 6 秒

他国からの侵攻が始まり、国が崩壊した日本。主人公のタケルはその数年前、大学生で留学生のリンと銭湯に行った。

日時 2016 年 11 月 26 日 (土) 15:45～

会場 心斎橋 SUN HALL

※アイウエオ順にて掲載



J C F 学生映画祭の軌跡

第 1 回



ゆうばり国際ファンタスティック映画祭
10周年特別協賛企画
第1回JCF学生映画祭
★1999年2月21日
★夕張市民会館特設ホール

【受賞監督】
グランプリ「The Fates〜フェイツ」
監督：飯島 明 (東京学芸大学)
準グランプリ「CAFE:ON THE NIGHT」
監督：小野寺 圭介 (北海学園大学)

第 2 回



ゆうばり国際ファンタスティック映画祭
協賛企画 第2回JCF学生映画祭
★2000年2月19-20日
★夕張市民会館シネサロン

【受賞監督】
グランプリ「素人娘(娘)マッサージ」
監督：耶愛 哉治 (早稲田大学 第二文学部)
準グランプリ「ヒコキ雲」
監督：花見 正樹 (関西大学 工学部)

第 3 回



ゆうばり国際ファンタスティック映画祭
協賛企画 第3回JCF学生映画祭
★2001年2月16-17日
★夕張市民会館シネサロン

【受賞監督】
グランプリ「翻譯」
監督：仲井 陽 (早稲田大学 社会科学部)
準グランプリ「帰ってきたあいつ」
監督：松川 さやか (大阪芸術大学 映像学科)

第 4 回



第4回JCF学生映画祭 in 沖縄
★2002年7月3-7日
★那覇市リウほうホール

【受賞監督】
グランプリ「さくらの夢」
監督：木村明子 (日本大学)
審査員特別賞「床下水面下」
斉藤ゆふき (武蔵野美術大学)

第 5 回



第5回JCF学生映画祭
in 会場 大江戸温泉
★2004年3月20日
★大江戸温泉

【受賞監督】
グランプリ「バラノイア」
監督：月川 翔 (成城大学 法学部)
準グランプリ「LOVE JACK」
監督：有田 豊広 (慶應義塾大学 環境情報学部)

第 6 回



第6回JCF学生映画祭
in 愛地球博 E X P O
★2005年3月31日
★愛地球博 E X P O ホール

【受賞監督】
グランプリ「充電」
監督：松本明子 (日本大学芸術学部)
準グランプリ「たれたれ」
金澤麻由子 (京都府立芸術大学)

第 7 回



第7回JCF学生映画祭
★2006年9月23-24日
★東京国立博物館

【受賞監督】
グランプリ「シェアリング」
監督：清水鮎 (大阪芸術大学卒)
準グランプリ「こいのぼり」
監督：辻直美 (慶応義塾大学卒)

第 8 回



夕張国際学生映画祭2007
★2007年2月25-28日
★夕張市 ホテルニューパロ

【受賞監督】
国際学生映画コンペティショングランプリ「HAPPY NEW YEAR」
監督：イスラエル Michal Hagl
夕張Students' Conception グランプリ「チーム (SONTRY)」
坂本達夫、松村草也 (東京大学)
Short Movie Award グランプリ「KOTATSU」
監督：五十嵐 拓 (東京工科大学)

第 9 回



夕張国際学生映画祭2008
国内学生映画AWARD
★2008年2月22-24日
★夕張市 ホテルニューパロ

【受賞監督】
グランプリ「少年少女」
監督：小栗はるひ
準グランプリ「true tune」
監督：初野一英

第 10 回



第10回JCF学生映画祭 in Tottori
★2011年11月19-20日
★米子市 米子コンベンションセンター

【受賞監督】
映画部門グランプリ「HOLD UP」
監督：斎藤弘明
アニメ部門グランプリ「樹を育もう男」
監督：井上有希

第 11 回



第11回JCF学生映画祭 in Tottori
★2012年9月14-15日
★米子市 米子コンベンションセンター

【グランプリ作品】
学生映画アワード「波紋」
監督：斎藤弘明 (早稲田大学院)
学生アニメアワード「夜から来た人たち」
監督：摩造子 (東京芸術大学大学院)

第 12 回



第12回JCF学生映画祭 in Tottori
★2013年10月14日
★米子市 米子コンベンションセンター

【グランプリ作品】
学生映画アワード「源火」
監督：沢田善吉さん (日本映画学校卒業)
学生アニメアワード「LIFE LINE」
監督：西村達二さん (デジタルハリウッド大学3年)
学生マンガアワード「さだきんのおんがえし」
幸村佳直さん (宝塚大学)

第 13 回



第13回JCF学生映画祭 in 山形
★2014年11月14-15日
★米子市 米子コンベンションセンター

【グランプリ作品】
短編部門
「陽だまりの花」
相馬寿樹 (日本大学芸術学部(4年)【相馬組】)
長編部門
「満子タマとわたし」
高杉麻子 (日本大学藝術学部(卒))
高専・高校生部門
「進化録の黒鏡」
映画研究部 上野咲介 (国学院高校(3年))

第 14 回

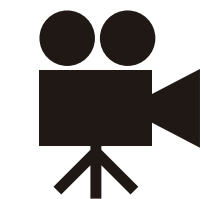


「夢はここからはじまる」
次代を担う才能の発掘と
育成を目的とした最大の映画祭
SINCE 1999
★2015年7月29日(水) 9月30日(金)
★米子市 米子コンベンションセンター

第14回JCF学生映画祭
ワオ・コーポレーション presents
★2015年7月29日(水) 9月30日(金)
★米子市 米子コンベンションセンター

第15回 JCF学生映画祭

2018年2月
北海道夕張市での開催が決定！



14th JCF STUDENTS MOVIE AWARD

日時 2016 年 11 月 25 日 (金) 14:05～

会場 京都西陣 IT 路地

人間適定	パラレル・マインド	限界突破応援団	灰色の青春	WILL
監督：伊波 信之佑 琉球大学 4 年 分数：28 分	監督：江上 徹 立教大学卒 分数：53 分	監督：渡邊 聡 九州大学卒 分数：30 分 3 秒	監督：天野 友二郎 鳥取大学大学院卒 分数：71 分	監督：土井 笑生 龍谷大学卒 分数：69 分
大人になるまでに軽犯罪を全く犯していない人は将来大罪を犯す予備軍として 10 年間監視され続ける法律あり、優等生がそれを回避するために仲間と軽犯罪を繰り返して犯罪予備軍数値を下げようとしていく。	大学の卒業公演を控える学生に起こる心境を描く。	選手たちを応援する為に全力を捧げる青年たちがいる・・・。 普段脚光を浴びる事の無い彼らの懸命な姿を映す。 彼らが全身全霊を尽くすその応援の本質とは一体何なのか。	過酷な青春時代を送る二人。肉体的にも精神的にも追い詰められる。彼氏がある計画を思いつくが、彼女にもある秘密があった。	自在に年月を行き来出来る日本が舞台。1995 年、2000 年、2015 年の登場人物が複雑に絡み合う。
監督プロフィール...琉球大学在学時、映画研究会に所属し様々な映画を制作する。映画祭での受賞経験も持つ。	監督プロフィール...立教大学卒業。卒業制作としてパラレルマインドを制作する。卒業を控える学生に心境を描く。	監督プロフィール...九州大学卒業。様々な映画作品を手がけ、食らうドファウンディングで資金を集めるなど精力的に活動。	監督プロフィール...大学院医学研究科に在籍する傍、映像制作に取り組む。現代の若者が描く精神的な映像を制作する。	監督プロフィール...龍谷大学卒業。タイムスリップをテーマとした WILL を制作。その他様々な映像制作に携わる。

J C F 学 生 映 画 祭 ス カ ラ シ ッ プ に つ い て

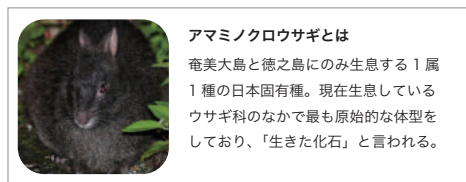
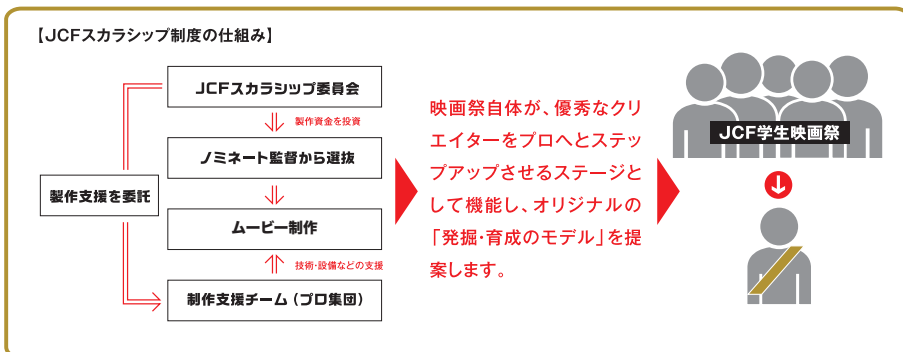
映画祭自体が、優秀なクリエイターをプロへとステップアップさせるステージとして機能します。

今年のスカラシップ
エルムス ユナイテッド 動物病院グループ
ELMS United Animal Hospital Group presents

アマミノクロウサギ保護ムービー制作

スカラシップパートナーである (株) エルムスユナイテッド動物病院グループのバックアップで、絶滅危惧種の保護に寄与する映像をスカラシップ対象者が制作。

テーマは、「アマミノクロウサギ」!!



～今年のスカラシップについて～

第14回 JCF学生映画祭

短編 / 長編のグランプリ監督を第一候補として
入賞監督全員の中からスカラシップ対象者を選定!

↓

**スカラシップ対象監督が
プロとともにムービー制作!!**

スカラシップ対象監督は、
イベント当日に発表

アマミノクロウサギ保護ムービー

【特別アジア招待上映】 アジア学生映画監督作品

日時 2016 年 11 月 26 日 (土) 17:40-

会場 心斎橋 SUN HALL



다빈_선예 Seon Ye



区役所で行方不明になってる娘の居所登録証を作らない父親のヨンチン、別れてる前の妻インヨンを会いに行く。しかしインヨンは新しい家庭を作り暮らしてある。そのことを確認したヨンチンは自分ひとりで娘のソニエを探したが見付からなかった。
その次の日の朝、朝飯を 娘と前の妻と一緒に食べる幻想に浸ったが直ぐその幸せの幻想は消えてしまい一人ぼっちで涙流しながら飯を食ってることを気づける。その日区役所に行ったヨンチンは区役所の係員に 居所登録証の作りの書類を渡したその瞬間 どこからか子供の泣き声が聞こえてくる。

監督：ベクダビン (Baek dabin)

大学校の演劇映画学部映画科に入学・在学中に多彩な映画製作に参加の経験。代表的な三つの短編映画の演出などの経験する。

【特別招待映像短編】 二十世紀梨男くん PR ムービー / ストップモーションアニメ



二十世紀梨男くん

分数：4 分 5 秒
製作者：株式会社 TORIONE

「鳥取県知事」や「キン肉マン」とも既にマブダチ?!
鳥取県を背負って立つニューヒーロー「二十世紀梨男くん」が、ついにミュージック&ダンスデビュー!

制作者プロフィール | 株式会社 TORIONE
株式会社 TORIONE は、2015 年に鳥取県の地域活性化を目指す 3 名によって設立。二十世紀梨男くんを制作しヒット。LINE スタンプなど様々なコンテンツを手がける。



ストップモーションアニメ

分数：75 秒
監督：八代 健志

一般的な粘土を材料としたクレーアニメではなく、独自の技法を用いての木彫刻により、天然木の暖かさを残しつつ、深みのあるキャラクターの表情の色合いを実現された作品。

監督プロフィール | 八代健志
日本マクドナルド・大塚製薬・インテル・Jリーグなど大手企業の CM を手がける。ストップモーションアニメとして「眠れない夜の月」や「ノーマン・ザ・スノーマン」の制作を手がける。

【特別招待映像長編】 南風

日時 2016 年 11 月 26 日 (土) 13:05-

会場 心斎橋 SUN HALL

分数：93 分 監督：萩生田宏治

日本の萩生田宏治さんが監督した台湾と日本の合作映画『南風』は、夏の美しい台湾と愛媛県のサイクリングロードを舞台に、自転車旅行を通じて育まれる恋や友情、そして青春をコメディタッチで描くロードムービー。

監督プロフィール | 萩生田宏治
大学在学中より山本政志監督や林海象監督作品で助監督を務め、1995 年に『君が元気でやっていてくれると嬉しい』でデビュー。続く『楽園』は、トロント映画祭や釜山映画祭等に招待され、2000 年文化庁芸術祭テレビドラマ部門において優秀賞を受賞した。また、助監督を務めた『萌の朱雀』では、河瀬直美監督が第 50 回カンヌ国際映画祭においてカメラ・ドールを受賞している。



【シネマフォーラム】 グランプリ受賞監督と見守ってきた映画プロデューサー

日時 2016 年 11 月 26 日 (土) 17:00-

会場 心斎橋 SUN HALL

映画監督



西澤昭男
映画監督



映画プロデューサー



大和田廣樹
映画プロデューサー



第 10 回 JCF 学生映画祭
準グランプリ



水川史也
立命館大学卒



私が監督デビューしたのは58歳。夢を持ち続ければチャンスの扉は開かれます。

西澤昭男監督に聞く

大言壮語でも構わない。
志を高く持ち、情熱的に、自分らしく
作品づくりに挑んでほしい。

Special
Interview

数々の童謡にのせて、日本の原風景と現代で失われようとしている「絆」を描いたアニメ映画「ふるさと」JAPAN」。第12回リヨン・アジア映画祭においてアニメーション部門、子ども映画部門で1位に選ばれた名作です。制作は、学習塾事業において西日本ナンバーワンの実績を誇るワオ・コーポレーション。他にもアニメ映画2作と長編映画を制作しており、いずれも高い評価を得ています。すべての作品で監督を務めた西澤昭男氏に映画制作にかける熱い思いを伺いました。

西澤昭男（にしざわ・あきお）

1942年東京生まれ。
京都大学文学部哲学科（美学美術史）卒。3年間大学院に在籍。会社員を得て、1976年に大阪で現ワオ・コーポレーションを設立。「今の日本を変えるには、教育を根本から変えていかなくてはならない」という持論のもと、北海道から沖縄まで41都道府県（2016年6月現在）に教育サービスを展開する企業に育て、現在も社長職を務める。座右の銘は「自燈明（じとうみょう）」。

世界に愛されるコンテンツ

大学時代の私は、数多くの映画を鑑賞し、映画評論も執筆していました。一方で様々なアルバイトを体験。予備校の講師からバーテンダー、司会まで、数えたら14種類もありました（笑）。書籍もジャンルを問わずに乱読。自己紹介で「ヘーゲルから平凡パンチまで。行動する知性、ニシザワです」と話していたほどです。こうした数々の出会いと、好奇心が、自分の思いを表現する力の基礎を築いたとも考えています。

Education&Entertainmentを掲げるWAOグループの社長となった私が、再び映画に目を向けたのは2000年でした。ほぼ全国に教室を展開し、今度は海外をめざそうと考えたのがきっかけです。「世界に愛され、自分が情熱をもって取り組めるコンテンツとは？」。その答えが映画であり、アニメ作品だったのです。

文化の壁を越えて受け入れられやすく、作品としての寿命も長い。親子で感動できる点もアニメの大きな魅力です。意を決した私はまわりに対して「10年間で3本の長編アニメ映画をつくる」と宣言しました。脚本・監督を兼務するとも伝えました。有言実行と言えば聞こえはいいですが、言った限りは後戻りできない（苦笑）。冗談のようですが、時にはこうして自分を追い込むことも大切だと思っています。

それから3年、劇場用長編アニメーション映画第1作『NITABOH 仁太坊―津軽三味線始祖外聞』※1が完成。2006年に「ふるさと」JAPAN、2009年には「8月のシンフォニー」※2を発表します。いずれも国際的な映画祭で栄誉ある賞を授かっています。音楽にも国境を越えて心を動かす力があると考え、そのキャスティングから完成度までこだわった結果とも言えるでしょう。

自己流と不易流行のススメ

私がシナリオ制作にあたって大切にしているのは、出だしとラストのイメージです。これらが決まると書きやすいし、逆にここで響くものがないと良い作品はできないからです。また、セオリーにはこだわりません。登場人物の対立などよくある図式にあてはめず、一気に主題へと突き進むイメージです。

構成や演出でスタッフと意見が分かれた際は、観客の目線で判断します。自信のある人ほど「プロ」としてはこうだ」と持論を展開しがちですが、「観る人、聴く人はこうだ」という捉え方を大切にしたいですね。

さて、私の好きな言葉に「不易流行」があります。その意味は「変えてはいけない本質的なものにも、新しさを取り入れて変化させていく」です。私は若い人と話し合う機会をたくさん持つことで流行を知り、感度を高く保つ努力をしています。若い皆さんは、ぜひ年配者と積極的に関わり、見聞を広めてみてはいかがでしょうか。

あともうひとつ、「志を高く持とう」です。私自身、映画づくりは先に述べた通りで、企業経営についても同様でした。設立当時からトップになると大言壮語し、すでに西日本ナンバーワンの座を獲得しています。全国47都道府県の展開も目前です。この記事をご覧のあなた、現在の目標をさらに高く設定し、声高らかに宣言しましょう！がんばってください。

※1 第10回ソウル国際アニメーションフェスティバルSON 2006（韓国／ソウル）長編映画部門グランプリ受賞。第11回リヨン・アジア映画祭（フランス／リヨン）ベストアニメ映画賞第1位。第7回Orieon 2015国際青少年映画祭（カナダ／バンクーバー）ベストビクチャー賞。

※2 第15回リヨン・アジア映画祭（フランス／リヨン）アニメーション部門第2位。子ども映画部門第3位。